





公共資産の道路

常に時代のヒーロー

あなたは毎日どこを歩いたり、自転車、自動車は、どこを通っていると思いませんか、とたずねますと、どうしてこんなあたりまえのことをたずねるだろうと不思議に思うでしょう。

言うまでもなく、人が歩いたり、自動車が通るのには「道路」です。

家を出かける時、道路を通るのだと意識して出かけ道路を通る人はいないでしょう。

えでなくなり、大変不便な思いをせねばなりません。

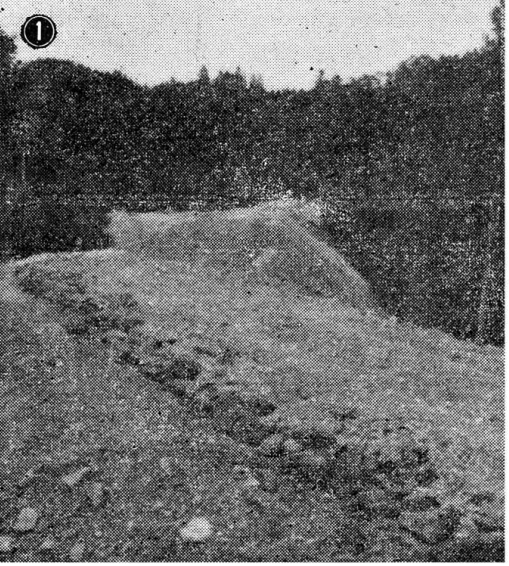
ただ今、全国的に道路を守る運動が行なわれており、八月九日まで『道路を守る月間』としてこの運動を実施しております。

本村においてはこれに先がけ、宮園、中西部落の方々が宮園林道及中西村道の道路補修を行っており、大変御協力していただき、深く感謝し、皆様の御協力をお願いいたします。

〔写真説明〕  
道路の補修を行う宮園部落民

道路を守る月間

七月十日～八月九日



別表 農林産物の生産状況(1年間)

種別	田ノ口	八所	原部
穀類	28.321K	37.638K	12.061K
野菜	19.687K	10.813K	11.799K
茶	886K	1.443K	1.259K
茸	1.083K	164.788	93K
木	1.363K	1.750K	775K
材	21.700K	964K	—
岩	30石	4.200K	130K
卵	975K	1.195K	—
牛	5.620K	—	—
鶏	16頭	12頭	—

生産資材購入状況

	肥料	農薬	飼料
田ノ口	242俵	265袋	1.671俵
八所	201	335	501
原部	65	104	91

土地利用状況

	田	畑	茶園	果樹	山林	採草	宅地	計
田ノ口	7.9	2.2	0.4	84.9	11.6	11.6	0.8	108.6
八所	8.4	3.2	0.3	17.4	6.7	6.7	1.1	37.3
原部	2.3	0.3	0.07	1.2	1.2	1.2	0.2	5.5

戸数および人口

	戸数	人口
田ノ口	18	105
八所	21	135
原部	17	87

写真説明

前述の通り、沿線部落の農産物を見てみると、別表の通りで、この線(田ノ口線)によせる期待は大きなものがある。

① 完成した田ノ口線原部八所間

② 田ノ口部落からの農産物は、牛や人肩で農協まで運ばれている。

③ 陸の孤島ともいふべき田ノ口部落の農産物

中津江の孤島に続く道

標高700mを走る田ノ口線

全産業発展の基盤でもある道路整備は、現在のところ林道が多く新設、改良されていた。

が、昭和三十七年度からは、総延長三、五〇〇米の「農山村振興道路田ノ口線」が計画された。

この路線は原部役場横の県道を起点に、八所部落を通り、標高七百米もある田ノ口部落まで延びている。

現在の所は、第一目標原部部落から八所部落までの一、三三〇米が完成した。

特にこの路線(田ノ口線)は、農山村振興道路として、従来の林道や、その他の道路と違った路線で、目的も農産物の運搬等、林道とは異なった目標で開きが進められ、もちろん振興基本計画(前号村報記載)にも編り込まれている。

農山村振興道路とは

完成した原部・八所間

道路は、私たちの暮らしにいろいろな荷物を運ぶためには、なくてはならない、大に作られており、国も毎年多額の金を費やし、高速道路も作られています。

当村のように杉の育林が盛んな村では、森林資源の開発が急がれるため、林道開設に毎年多額の費用を投じて行なわれてきました。

ところが最近では、森林資源開発という面だけでなく、総合的な地域開発を進める目的で、森林資源のみにとらわれず道路を開き、利用効果を高めることになり、林道開設に必要となる費用を、農業近代化や、農業構造改善事業の推進を呼びかけています。

当村において、産業基盤となる道路は、昔のままであり、しかも標高四百〜六百メートルに点在して、農家集落が構成されている。

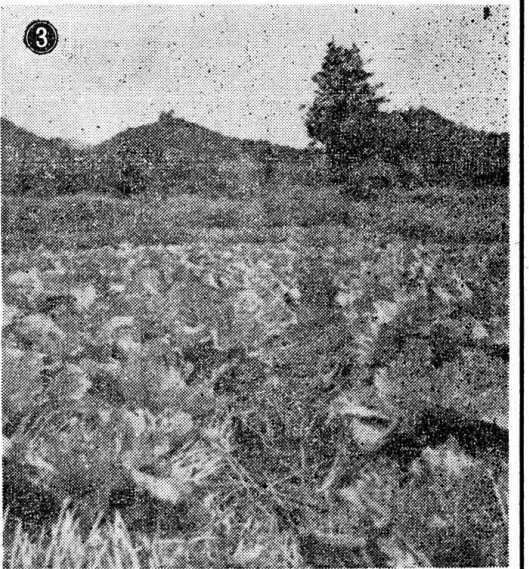
このために県道と集落(部落)を結ぶ車道が必要であり、道路の開設によつて農業の近代化や、あるいは構造改善の糸口となる。

そのような意味で、継続施行中の田ノ口線は、地域開発と農業構造の発展を求め、地域住民の生活にもたらす影響は大きく、社会経済基盤を安定する、一つの社会資産である。

幸い地区民の理解と協力により、第一目標の原部八所間一、三三〇米は完成した。

本年度(39年)は第二目標である田ノ口部落へむかつて、事業が押し進められている。

前述の通り、沿線部落の農産物を見てみると、別表の通りで、この線(田ノ口線)によせる期待は大きなものがある。



短伐期林業への近道

(その六)

中津江村森林組合

林木育種、林地施肥とともに、短伐期林業の第三の問題は密植造林である。

立ち木本数は、あまり多すぎてもいけないし、少なすぎてもいけない。どこかその中間あたりに適当な本数があるべきだというのが適正立ち木本数の考え方である。

適正本数をさがす試みは、ずいぶん古くから行なわれているが、なにぶん結果がでるまでに三十年、五十年の歳月を要する仕事だけに、研究者の熱意もそがけがちで、業績のみるべきものが少ない。

適正本数はわが国では間伐の強さを決める問題とからまされて、研究されたものが多く、植え付け本数の決め手となるものは少なかつた。実際の植え付け本数は地方によつて非常に大きな開きがある。また時代によつても変つてきている。

もともと植え付け本数は土地のよしあし、搬出の便も不便、樹種品種、仕立て方、伐期令、生産の目標などによつて、一律には決められないのがほんとうである。

一般には苗木代が安いと密植になり、材価が下がれば疎植になり、小径材が有利にさばけるようになれば、密植になるというのが実情しかし植え付け本数を理論的に決められないというのではない。短伐期ではたいていの場合、本数が多いほど、林分材積が多いという事実に基づき、密植造林を提唱する人が多く、あるていどの理論的裏付けも行なわれている。

たとえば京都大学の紫田教授は、アカマシ六年生の林分について調べた結果、

別表 樹高に対する適正本数

区分	5米	10米	15米	20米
アカマシ	本 3.130	本 1.100	本 600	本 390
スギ	6.530	2.300	1.260	820
ヒノキ	7.780	2.751	1.500	970

またドイツでの研究によると、マツ及びトウヒの植え付け本数は一ha当り四千四百九拾本ないし六千九百四十本が最も成績がよいとされている。これらの研究成果からみて、生産量を単に量でできるだけでなく、場合によっては、林内の個体が盛んに競争しているような密生状態においての方がよいといえる。しかし各個体の大きさをそろえたり、あるていど以上の大きさのものを早く生産したい場合は適当な疎立状態にまで立木本数を下げるよう、人工管理をしなければならない。

生産期間の長い林木ではその間の障害にたいする抵抗力をよく備えているよう、健全な林に育てる必要もあるわけで、そこに間伐の必要が生ずる。さらに単位林分の生産量は、枝葉が閉そくしたあとでは、立ち木密度に関係なく、一足であるとの説が有力である。

植え付け本数は、経営的な要素を除けば、土地の良否と樹種、品種によつて考へるのが本筋である。そこで一応植え付け本数を樹種の性質とから考へておいてみよう。アカマシは疎植の害が大きいので、植え付け本数は、五千本以上で七千〜一万本でいいと植えることが理想である。クロマツはアカマシほど密植する必要はないが、それでも四千本でいいと植える必要がある。ヒノキは間伐林が金にならないので、疎植の傾向にあるが、疎植すると材の形質が悪くなるから五千本でいいと植えたい。

スギは地方によつて千本以上から一万本以下と、その幅が非常に広い。三千本植えが標準となつていて短伐期では、少なくとも五千本〜六千本が必要。

カラマツは疎植の害が少なく、間伐は多いほど成績がよいといわれ、密植して間伐が遅れると、弊害が大きいので、三千本以上を植えることは危険であり二千〜二千五百本でいい。

土地は肥えていれば疎植してもよく、ヤセ地では密植しなければならぬが、一般には逆に行なわれることが多いので注意すること

以下次号 森林組合



写真説明

〔写真1〕 ピケ小屋の屋根からと、収用橋の上ではマイク合線を結ぶ間も、作業隊は鉄条網を切り、第一トリデの取りこわしを続ける。

〔写真2〕 警職法四條の「強制避難」を適用、待機していた機動隊があらわれ、時に十一時〇五分。

〔写真3〕 五十人余りの反対派オルグは、腕を組み労働歌を歌いながら、ジクザク行進を行う。

〔写真4〕 十一時五十分第一の渡りうかは、建設省の作業隊によつて、みる影もなく取り払われた。

下釜ダム紛争歴

〔三二年〕 建設省が、下釜松原ダム建設を決める。

〔三三年〕 下釜ダム予定地の志屋、浅瀬部落が、ダム絶対反対を決議。

〔三四年〕 熊本県知事、九地建にダムサイトの試験を許可。九地建は立木材採をはじめ、地元民の反対にあう。

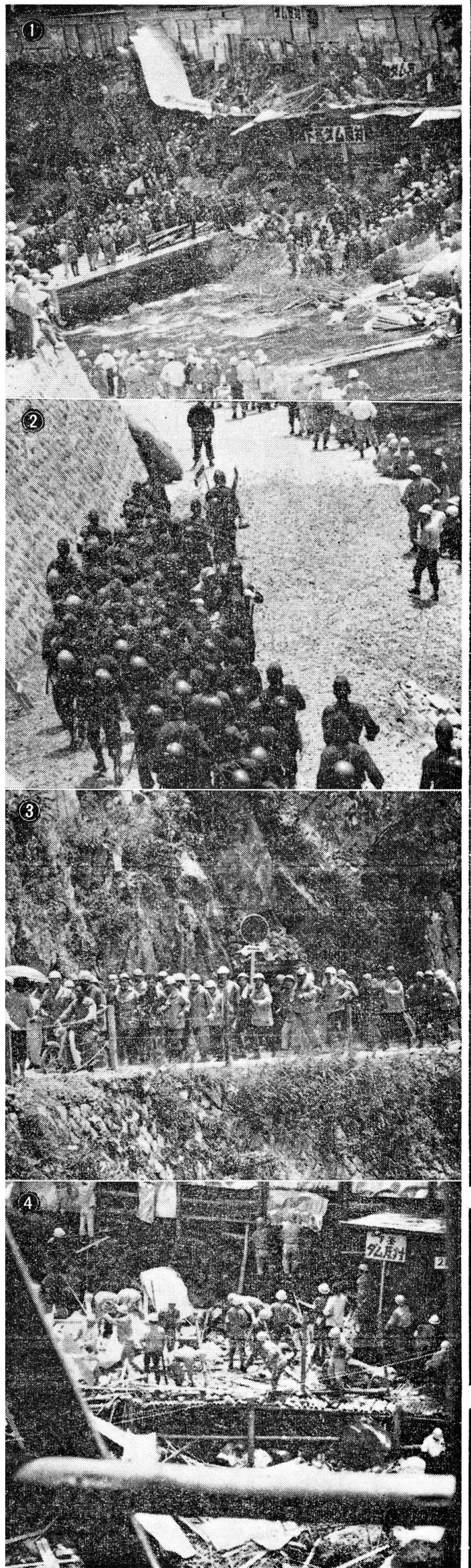
〔三五年〕 3月、反対派が蜂ノ巣城をつくる。

4月、建設省下釜、松原ダムの事業認定を告示、現地（当村下釜）で試験工事が始まる。

6月、熊本県知事蜂ノ巣城の試験を許可、20日から29日にかけて、九地建の架橋工事や城内立ち入りに、地元民はげしく抵抗、負傷者も出る。

7月、室原氏ら公務執行妨害でつかまる。九地建は30日蜂ノ巣城の代執行を中止。

〔三八年〕 東京地裁で事業認定有効の判決、室原氏敗訴。小国町の有志が小



ヤジウマの目

下釜蜂はタゴ蜂でござる  
刺されしやんすな九地建  
昭和三十三年、ダム建設予定地となり、ダム絶対反対のもとに、一躍社会の注目を浴びた蜂ノ巣城も七年間の、ダム反対の歴史も「法の力」公共福祉のために、ついに終止符(?)をうった。

しかし、室原知事氏はなおも闘志を燃やしている。こんなにも堅く、室原老を反対に捜しやつたものは何か、筑後川の下流住民は松原、下釜ダム建設によつて、洪水から逃がれるだろうか。

私たちは騒ぎだてるマスコミの中で、表面に現れた現象のみで判断せず、真の意をよまねばならぬ。が、裁判の判決も下り、代執行の「城」取りこわしも終つた今、ダム建設が全ての意味で、妥協と思わざるを得ないし、公共優待の法測に従い、ダム建設に協力しなければならぬ。

しかしダム建設の際、作成しなければならぬ基本計画が出来ていなかった事実に関しては、いまだ建設省の一方通行でなかったと唯が言い切れるだろう。

当村では個人補償も前例のない、高い補償基準が確定された。が、もしこれが蜂ノ巣城の響影を受けているとしたら、行政のアイマイを感じない訳にはいかない。

全体の奉仕のために、公平に行なわれるのが、公共事業の精神であろう。

七年間もたつた建設省も、ダム建設には初の代執行を行った。いままでは例のなかつただけに、建設省としては、大きな前進であろう。が何か割り切れぬ心のまま、政治力の弱さを、いやというほどに見せつけられた蜂ノ巣城騒動であつた。

六月二十三日 代執行行なわる

昭和三十三年、当地区にダム建設が突発して以来、全国的にその名を誇り、清らかで平和な津江の峡谷に、一丈報道の渦をまきちらした蜂ノ巣城もついに落成。

この日代執行を見ようとしてめかけた地元民約三千、心配されていた負傷者もなくぶじ執行された。

蜂ノ巣城落成

6月23日、革新団体のオルグは、午前四時半起床三十分後には、絶壁にはりめぐらした。ピケ小屋からサイレンが鳴る。ついで双方の配置を終わし、収用上で作業隊の到着を待ち構えた。

午前七時三十分、九地建の作業隊は配置を終つた。蜂ノ巣城への渡河作戦に必要な分厚い竹のイカダと土

のうを運ぶ。代執行責任者の一人、野島所長（松原下釜ダム事務所長）が第一線指揮官として、収用橋のまん中へ進む。「話し合おう」とさつそく反対派が取り囲む。

野島所長は「いまここで話し合う必要はない。法的手続きもふんできたのだから……」と三言三語。そうしている間も、収用橋と蜂ノ巣をつなぐイカダはつぎつぎに川の中に投げこまれ、渡河準備は平気よく、進む。

午前九時三十分、上流と下流の二本のイカダ橋はついにトリデの一角がくずれ、ついで九地建のマイクが百人の警官隊が警職法四條の「強制避難」を適用「あぶないからいってくれ」と鉄条網をたたき切り、ピケ小屋のさくが取り払われ、小

て、かえ出されるもの、おとなしく竹イカダを渡るもの。二十分ばかりで最前列を守つていた百人近いオルグは、城外に強制避難させられる。

午前十一時五十分、難攻不落を誇つた蜂ノ巣城も、ついに第一の渡りうかは取り払われる。裏山から入り込んだ九地建作業隊も次々にピケ小屋を取り払う午後一時五十分、かつて威容を誇り、ダム反対を呼びつづけてきた蜂ノ巣城は見る影もなく、完全にくずも耳に入らぬか、じつと経緯を見守つていた右翼団体も、大日本生産党の宣伝カーが一台、早朝に姿を見せたが、反対派と実力で争うようなトラブルはまつたくなかった。

☆ 反対派は二十四日正午、今後の問題について発表、オルグが城に残した五万円や身回り品などが紛失した。九地建の責任を追及し、賠償を要求する。

また職権乱用で熊本県知事を告訴すると発表した。

八年間守つづけてきた蜂ノ巣城の代執行を見ようと、地元小国町、日田市郡民約三千人は、マイク合戦の声を耳に入らぬか、じつと経緯を見守つていた右翼団体も、大日本生産党の宣伝カーが一台、早朝に姿を見せたが、反対派と実力で争うようなトラブルはまつたくなかった。

☆ 反対派は二十四日正午、今後の問題について発表、オルグが城に残した五万円や身回り品などが紛失した。九地建の責任を追及し、賠償を要求する。

また職権乱用で熊本県知事を告訴すると発表した。

本村におけるダム建設の近況

付替県道荒瀬、栃原間も完成

下釜ダム建設も蜂ノ巣城の代執行によつて愈々本格建設が進められることになった。

本村水没予定者は去る昭和三十三年九月補償基準を了承して、個々に九地建当局と個人交渉が、お

こははれ現在二三名（道路係関係を含む）の妥結者がある。

これらの補償妥結者は、逐次移転をしているが、地建当局の話では、大半は村外に移転希望者であるとのことで、現在までの移転

県内（日田市、郡内を除く） 二名  
郡内 二名

このほか、付替県道は栃原―荒瀬下釜―野田間が既に工事が完了している。九地建では本年度は野田―荒瀬間と川辺より鯛生川右岸に取付ける道路を作る予定である。

また公共施設としては、村づくりの基盤となる、八女―小国線の大改良は、さ

きに法律制定を見た奥地等産業開発道路整備臨時措置法で益々有望され、これが実現方に村長、助役は全力をあげている。

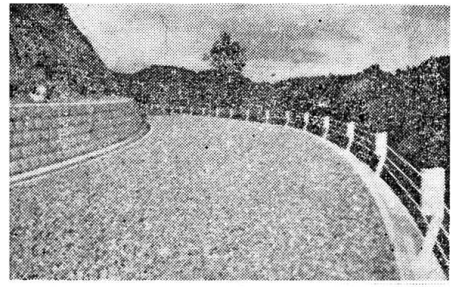
水没予定者再建対策の一環である、集団移住地は、着々と進められているが、具体的な問題になると、仲々進展せず歩歩的進捗の遅い状態であるが、これらの問題を含めた公共補償の要望も蜂ノ巣城問題の解決によ

つて急速に、打開されることにならう。

現在、村づくりとしての要望については、野田部落を中心とした水路改良、取付道路などの整備ができて、栃原―荒瀬間の付替県道の開設によつて、従来の辛味道路がその機能が維持できなくなつたので、この代替道路を要望している（写真は付替補償県道荒瀬上部附近）

全体の奉仕のために、公平に行なわれるのが、公共事業の精神であろう。

七年間もたつた建設省も、ダム建設には初の代執行を行った。いままでは例のなかつただけに、建設省としては、大きな前進であろう。が何か割り切れぬ心のまま、政治力の弱さを、いやというほどに見せつけられた蜂ノ巣城騒動であつた。



下釜ダム建設も蜂ノ巣城の代執行によつて愈々本格建設が進められることになった。

本村水没予定者は去る昭和三十三年九月補償基準を了承して、個々に九地建当局と個人交渉が、お

こははれ現在二三名（道路係関係を含む）の妥結者がある。

これらの補償妥結者は、逐次移転をしているが、地建当局の話では、大半は村外に移転希望者であるとのことで、現在までの移転

県内（日田市、郡内を除く） 二名  
郡内 二名

このほか、付替県道は栃原―荒瀬下釜―野田間が既に工事が完了している。九地建では本年度は野田―荒瀬間と川辺より鯛生川右岸に取付ける道路を作る予定である。

また公共施設としては、村づくりの基盤となる、八女―小国線の大改良は、さ

きに法律制定を見た奥地等産業開発道路整備臨時措置法で益々有望され、これが実現方に村長、助役は全力をあげている。

水没予定者再建対策の一環である、集団移住地は、着々と進められているが、具体的な問題になると、仲々進展せず歩歩的進捗の遅い状態であるが、これらの問題を含めた公共補償の要望も蜂ノ巣城問題の解決によ

つて急速に、打開されることにならう。

現在、村づくりとしての要望については、野田部落を中心とした水路改良、取付道路などの整備ができて、栃原―荒瀬間の付替県道の開設によつて、従来の辛味道路がその機能が維持できなくなつたので、この代替道路を要望している（写真は付替補償県道荒瀬上部附近）

全体の奉仕のために、公平に行なわれるのが、公共事業の精神であろう。

七年間もたつた建設省も、ダム建設には初の代執行を行った。いままでは例のなかつただけに、建設省としては、大きな前進であろう。が何か割り切れぬ心のまま、政治力の弱さを、いやというほどに見せつけられた蜂ノ巣城騒動であつた。



子ども達が楽しみにしている夏休みが目の前に迫ってきました。

夏休みは子ども達にとって身心の休養の期間であり、個人差に応じての鍛錬の機会でもあります。また、個性を伸ばし、自主的態度を身につけるには良い機会でもあります。子ども達の個性に合った計画性のある生活が大切です。

### 計画性を もたせる

夏休みが計画性のない、不規則な生活に流れること、から思わぬ事故も発生し勝ちです。子ども達の個性に合った計画性のある生活が大切です。

### 夏休みの生活指導

子ども達が楽しみにしている夏休みが目の前に迫ってきました。

夏休みは子ども達にとって身心の休養の期間であり、個人差に応じての鍛錬の機会でもあります。また、個性を伸ばし、自主的態度を身につけるには良い機会でもあります。子ども達の個性に合った計画性のある生活が大切です。

### 計画を立て必ず守らせる

これらの計画がうまく進められているか、時折り子ども達と話し合ってみましょう。その計画のなかには、朝

### 健康と安全

この夏休み中に一名の事

### 夏のビタミン不足は 私たちの健康

#### 食欲不振の原因

夏からだがだるくなったり食欲不振になるのは、高温多湿の気候もあり、ビタミンB類の欠乏によることも多いので、これ

### 塩分の補給も必要

もちろん、脂肪やタンパク質などのカロリー源や、汗をかく時期ですから塩分のような無機質も豊富にとらなければなりません。また暑いからと物ぐさくなるとよけい食欲が不振になりま

### 睡眠も十分に取る

#### 夏の健康について栄養と

夏の健康について栄養とともに大切なことは休息です。暑いからといって眠れぬままに夜ふかしをするのは禁物です。眠れなくても体を横にしていれば体は休まります。できるならば昼寝をして、不足がちな睡眠を補いましょう。

### 広報館設置で祖国愛

#### 待たれる戦時作品

自衛隊別府駐屯部隊では、施設の一部を利用して、駐屯地内の広報資料を展示して、隊員に対しては、郷土愛、祖国愛を養うとともに、郷土関係資料を通じて、自衛隊と一般住民の間に、関係古文書類等

### 食事後に歯みがきを

#### ブラシは硬くて短いほどよい

日頃あまりにもありふれていて、考えてみないこととをじっくり考えてみると、夏やせしなばかりでなく、流行する種々の病気に対する抵抗力を養い、夏につきものの体のだるさや無気力を吹き飛ばし、やがて抜け毛や抜け、胃腸などに悩まされることのないさわやかな秋をむかえることができるでしょう。

### 修学旅行第1日 消えない思い出の一夜

「ヤレ、ヤレ三分の一を終わらせた」とは旅行第一日めの夕食に就いたとき私の感想である。何度行っても、どんなに計画を練っていても、やはり子供を引率して行くこととなるたいへんである。事故、中毒、車酔い、行方不明等、大抵は生命にかかわるものから、忘れものに至るまでさまざまな難物がある。

### 香典返しとして 寄附 坂田氏

香典返しとして、坂田氏より金一封を、中津江村社会福祉協議会へ寄付されました。



毎月19日は 金融相談日 農林中央金庫大分支所では、林業金融の実情把握と円滑化をはかり林業経営の維持発展に寄与するため、日田市に毎月出張して林業金融相談所を開設することになりましたので、気軽に相談してください。

### 県民手帳のおすすめ

毎年、大分県統計協会では、「大分県民手帳」を発行しています。一冊百円、二百五十頁からなるこの手帳は、内容も充実しており、来るべき年のあなたの助手として、お勧めできるものです。

### 水遊びはプールで

じめじめした梅雨があと、子ども達にとっては一番楽しい水遊びの季節になります。

本村もその数は少ないとはいえ、毎年水の犠牲者はあつて行かぬままです。

子どもの水泳には必ず大人がついて行くようにし、泳ぎの達者な人も、けつして一人で水には入らない等、十分に注意して下さい。